



校訓:文武両道

鏡が沖

教育目標: 自ら学び 共に高め合う
心豊かな生徒
学校だより 特設号
柏崎市立鏡が沖中学校
(柏崎市大字枇杷島2842番地1)
保護者配付: 2021年5月21日

「非認知能力」と「キャリア教育」

新年度がスタートして間もなく2か月となります。新年度が始まり、1年生は、小学校から中学校、2、3年生は、進級にともなう新学級という環境の変化がありました。それらに対応しようと生徒は、想像以上の緊張感の中、エネルギーを使い、授業や行事、活動に取り組んでいます。時には、自分の思い通りにいかないこともあるため、精神的な疲れもあると思います。

さて、5月31日からいよいよ中間テストが始まります。特に1年生は初めてのテストということで、さぞ緊張感があることでしょう。そして、テストとなるとどうしても点数に目がいきがちです。

以前、私は新入生保護者説明会の挨拶で学力について次のような話をしたことがあります。一般的に学力というと、「理解力や思考力」、「上級学校進学に必要な力」、「これからの社会を生きていく力」など様々です。

その時は、藤井聡太 二冠(八段)がなぜ強くなったかを紹介しました。彼の強さの秘訣は「悔しがる力」と「地味で非効率的な勉強法」と言われています。

師匠の杉本八段によれば、幼い頃に負けた時、目の前の将棋盤を抱きかかえて、顔を盤面に押し付けて吠(ほ)えるように泣き叫んでいました。また、「負けた対局ほど学びがあると考えているので、悔しいと思うことこそ伸びるチャンスなのです。それだけ悔しがれる藤井を頼もしく思いました。また、近年普及してきたAI(人工知能)将棋に頼ることなく、藤井がやっていたことは非常に地味で非効率的で好まれない研究法です。それを楽しみながらしつこく考えていけるのが藤井の強さの秘密なんですね。」と述べています。(引用dot.asahi.com/wa/2020110400014.html)

このことと「学力」の関係を見てみると、単に「学力」は、理解力や思考力だけでなく、『粘り強さ』や『忍耐力』といった数値化できない*『非認知能力』が学力に大きく関係するように思います。

『非認知能力』は、残念ながら自分の力だけで鍛えることはできず、日常生活や学校生活における人間関係の中で構築される能力です。

終わりに、中学校では、学習指導要領が4月から全面实施となりました。そして、総則では、『特別活動を要としつつ各教科等の特質に応じて、キャリア教育の充実を図ること』が明示されました。

参考までに、右記に教育活動をキャリア教育の視点でとらえ、生徒に身に付けさせたい力(基礎的・汎用的能力)を示しました。先述した『非認知能力』と重なることが多いことがお分かりかかと思っています。

「テストや通知表で高得点を取ってほしい」という親としての思いは当然おありかと思いますが、そのことと同時に学力を高める視点でもある「自制心(がまんする力)」「やり抜く力(計画性)」ということを含めて、お子様を励ましてください。お願いいたします。

*非認知能力とは、IQや学力テストで測ることのできない内面の力で社会に出た後、学力だけでは対応できない問題に直面したときに必要となる力

→意欲、忍耐力(粘り強さ)、協調性(社交性)、自制心(がまんする力)、やり抜く力(計画性)、生きる力

参考文献:「学力の経済学」(H27 教育経済学者 中室牧子)

「キャリア教育」で生徒に身に付けさせたい力(基礎的・汎用的能力)

1 人間関係形成能力・社会形成能力…「かかわる力」 *「○○力」は、あくまでも例です

・人の意見を聞くとき、その人の考えや気持ちを受け止めようとする。(他者の個性を理解する力)

・相手が理解しやすいように意識しながら、自分の考えや気持ちを伝えようとする。
(他者に働きかける力・コミュニケーション力)

・自分から役割や仕事を見つけたり、分担したりしながら、周囲と力を合わせて行動しようとする。
(チームワーク・リーダーシップ)

2 自己理解・自己管理能力…「みつめる力」

・自分の興味や関心、長所や短所などについて知っている。(自分の役割の理解)

・気持ちが沈んだり、あまりやる気が起きない物事に対するときでも、自分がすべきことには取り組もうとする。
(忍耐力・ストレスに対する力)

・不得意なことや苦手なことでも、自ら進んで取り組もうとする。(前向きに考える力・主体的行動力)

3 課題対応能力…「やり抜く力」

・分からないことやもっと知りたいことがあるとき、自分から進んで資料や情報を収集したり、誰かに質問したりする。
(情報を理解・選択・処理する力)

・何か問題が起きたとき、次に同じような問題が起こらないようにするために、何をすればよいかを考える。
(本質理解・原因追求・課題発見する力)

・何かをするとき、見通しをもって計画的に進める。(計画立案・実行する力)

・そのやり方などについて振り返り、改善をしたりする。(評価・改善する力)

4 キャリアプランニング能力…「未来を切り拓く力」

・学ぶことや働くことの意義について考えたり、今、学校で学んでいることと自分の将来とのつながりを考えたりする。
(学ぶこと、働くことの意義や役割の理解)

・自分の将来について、具体的な夢や目標がある。・目標実現のための方法について考える。
(将来設計・進路選択する力)

・自分の将来の目標に向かって、生活や学習の仕方を工夫するなどして、努力する。
(実行・改善する力)